

下記的意思確認について、不同意のご連絡の受付は令和元年9月30日で終了し、現在、当該情報の移譲は完了いたしました。また放影研の当該ホームページの掲載も終了いたしました。

個人情報の移譲に関する同意書

◇ 経緯とお願い

公益財団法人放射線影響研究所（放影研）は、平成26年10月から平成30年3月31日（第1期）において、東電福島第一原発事故に伴う緊急作業に関わられた方を対象とした労災疾病臨床研究事業費による「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」を実施してまいりました。この調査は、放射線による健康影響ならびに皆様の健康管理を目的として、生涯にわたり長期的に継続する事業とされており、このたび、令和元年6月4日からは、第2期として独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所（安衛研）が当該研究の統括機関として継承することとなりました。

つきましては、皆様方のご協力により第1期の研究で得られました貴重なデータ（以下ご参照）を放影研から安衛研に移管し、今後の放射線被ばくの健康影響の検討に用いることに対して、ご理解を得たいと存じます。

なお、個人情報の移管は研究の継続に大きく影響を及ぼすことから、移管にご同意いただけない場合は研究参加継続の意思について確認させていただきます。

以下の説明文をお読みいただき、移管について、ご同意いただけない場合には、氏名、住所、郵便番号、電話番号、生年月日、登録番号の情報とご同意いただけない旨を記載し、安衛研宛にハガキ若しくは封書でご連絡ください。安衛研より、研究参加に関する意思確認書を送付させていただきます。

◇ 移管および保管方法

平成26年度から平成30年度に、「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」における研究参加同意を頂いた方〇〇人のうち、これまでに健診結果等の情報に関して研究への利用を拒否された方を除き、本説明文書を郵送し、また、同内容をホームページ（<https://news.rerf.or.jp/hp/top.html>）にも掲載いたします。

本説明文書が届いた時点から2週間以内（最終は令和元年9月30日）までに、文書返送による不同意のご意志を表明された方以外の情報を放影研から安衛研へ移管いたします。

移管された紙資料および電子データは、安衛研の施錠可能な部屋の施錠可能な保管庫の中に収納し、厳重に管理します。

◇ 研究概要

研究課題名（研究課題番号）	労災疾病臨床研究事業費補助金「放射線業務従事者の健康影響に関する疫学研究」（190702）
研究責任者（所属）	大久保利晃（独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所）
研究対象	東電福島第一原発緊急作業従事者（以下「対象者」という）： 平成23年3月14日から同年12月16日までに東電福島第一原発内において緊急作業等に従事した者。

研究期間	<p>対象者の生涯にわたる調査。（当面の計画として 30 年間）</p> <p>第 1 期：平成 26 年度～平成 31 年度</p> <p>第 2 期：令和元年度～令和 5 年度</p>
研究の目的・意義	<p>平成 23 年 3 月 14 日から同年 12 月 16 日までの間、約 2 万人の緊急作業従事者が作業に従事し、そのうち、174 人が通常作業の 5 年間の線量限度である 100mSv を超えたが、この集団の大部分は、被ばく線量が 100mSv 未満の者が占めることから、信頼性の高い疫学調査が実施できれば、低線量被ばくリスクおよびその機序に関する新知見が得られると期待される。また、従来の放射線被ばくによる健康リスクの研究は主として原爆被爆から得られた知見であり、放射線被ばくは一時被ばくによるものであった。本研究で対象とする集団の被ばくは、主として低線量率の継続的被ばくによるものであり、この研究結果により線量・線量率効果に関する新知見が得られることも期待できる。その結果は、より精緻な放射線防護基準の設定に資する可能性がある。また、緊急作業に従事したことによる心理的影響に関する詳細な科学的知見も追求する。</p> <p>本研究では、上記の研究の意義を踏まえ、約 2 万人の緊急作業従事者の放射線被ばくによる長期にわたる健康影響を明らかにすることを目的とする。</p>
令和元年度以降の研究手法	<p>本研究の開始にあたって、放影研が厚生労働省の東電福島第一原発作業員の長期的健康管理システムの登録情報を使用するための申請を行い、対象者の情報を入手した。これらを労働安全衛生総合研究所でも利用できるように、厚労省に対して利用者登録を行い、安衛研のデータベースサーバに保管し、情報セキュリティに配慮したうえで一元管理する。</p> <p>また、全国 77 カ所の健診・医療機関の協力を得て、研究参加者の同意に基づいて、引き続き健康診断を実施するとともに疫学調査を行う。</p> <p>健康診断時には、質問紙調査や面接調査を行い、緊急作業時の放射線被ばくに関係する作業歴と健康影響に間接的に作用する交絡因子の解明につとめるため、既往歴、家族歴、職業歴、医療被ばく歴、生活歴など、直接本人からの情報入手以外には獲得できない情報を収集する。</p> <p>本研究のために組織された研究班は、研究代表者の元でそれぞれ臨床調査、白内障調査、甲状腺がん調査、死因・がん罹患調査、線量再評価、解析班に分かれて、個人を識別する情報と切り離されたデータにより、分担毎に専門的研究・解析行う。</p> <p>また、同意に基づいて健診時に採取した血液・尿の検体試料は、将来の研究に資するために、当面の間は、放影研にある超低温冷凍庫において長期保管される。</p>
利用する情報の項目	<p>1) 厚生労働省が保有する東電福島第一原発作業員の長期健康管理システム登録情報のうち、放影研が平成 30 年度までに入手している住所等連絡先に係る個人識別情報（個人番号、中央登録番号、氏名、生年月日、住所、電話番号、所属企業等）および、線量情報、生体影響情報、被ばく作業関連情報等</p> <p>2) 甲状腺超音波検査、白内障調査、心理的影響調査、県民健康調査等の</p>

	<p>個別研究によって得られたデータ</p> <p>3) 放射線影響協会中央登録センターから抽出された緊急作業時および通常時の被ばく線量データ</p>
研究組織	<p>明石 真言（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構）</p> <p>大石 和佳（公益財団法人 放射線影響研究所）</p> <p>大神 明（産業医科大学産業生態科学研究所）</p> <p>小笹 晃太郎（公益財団法人 放射線影響研究所）</p> <p>喜多村 紘子（公益財団法人 放射線影響研究所）</p> <p>栗原 治（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所）</p> <p>佐々木 洋（金沢医科大学）</p> <p>数藤 由美子（国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所）</p> <p>祖父江 友孝（大阪大学大学院医学系研究科）</p> <p>谷口 信行（自治医科大学）</p> <p>朝長健太（独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所）</p> <p>廣 尚典（産業医科大学 産業生態科学研究所）</p> <p>星 北斗（公益財団法人 星総合病院）</p> <p>宮川 めぐみ（医療法人誠医会 宮川病院/国家公務員共済組合 連合会虎の門病院）</p> <p>百瀬 琢磨（国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 バックエンド研究開発部門 核燃料サイクル工学研究所）</p> <p>吉永 信治（広島大学 原爆放射線医科学研究所）</p>
個人情報の取り扱い	<p>安衛研および共同研究機関ならびに以下の情報提供先においては、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守します。</p> <p>本研究で得られたデータを健診機関や分担研究班に配布する場合は、デジタル証明書がインストールされたPC上で扱います。</p> <p>電子情報については、施錠可能な部屋に設置された専用サーバに保存し、パスワードを設定し許可された者のみが操作します。情報は原則として研究期間（当面の計画として30年間）が終了するまで保存します。保管された情報は、安衛研で匿名化のデータ処理をしたうえで、安衛研のファイル送受信システムを通じて各分担研究班へ提供されますが、連結のための対応表は提供されず、安衛研で厳重に保管します。</p> <p>なお、研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。</p> <p>ご自身または代諾者等が、情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。</p> <p>また、労働安全衛生総合研究所のセキュリティポリシーや個人情報保護方針については以下のホームページをご参照ください。</p> <p>https://www.jniosh.johas.go.jp/rule/privacy.html</p>

研究に関する情報公開の方法	対象となる方のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、両研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。
提供先以外の他の機関への提供	<input checked="" type="checkbox"/> 有（提供先機関：以下のとり。） ・健診協力機関や健診予約業務代行機関に皆様の情報（住所、氏名、連絡先）を提供させていただきます。 ・研究解析業務のために、システム開発業者に、皆様の情報（健診データ、線量情報等）を提供させていただきます。 以上、提供先には個人情報保護指針に基づき、厳重な情報管理を徹底し、流出等が行らないようにいたします。
問い合わせ先	研究代表者 氏名：大久保利晃（特任統括研究員） 所属：独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 住所：川崎市多摩区長尾6－2 1－1 電話：044-865-6111（内線2 4 2）

◇ 今回の措置について

個人情報の保護に関する法律第23条第2項の定めに基づき、個人データを放影研から安衛研に移管することとしております。不明な点がある場合は、お問い合わせください。